

## 免疫・アレルギー

科目到達目標: 免疫アレルギー疾患の病態を理解し、診断および治療を説明できる。

科目責任者(所属教室): 竹内 裕美(耳鼻咽喉・頭頸部外科学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	9/29(金)	3	131	膠原病性肺炎	山崎 章	分子制御内科学	膠原病肺の病態を理解し、症候、診断および治療を説明できる。	膠原病肺、慢性関節リウマチ、強皮症、皮膚筋炎、間質性肺炎
2	10/12(木)	5	131	耳鼻咽喉科領域の免疫アレルギー疾患	竹内 裕美	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	主な耳鼻咽喉科領域の免疫アレルギー疾患の病態、診断、治療を説明できる。	ベーチェット病、シェーグレン症候群、ヴェゲナー症候群、鼻アレルギー類似疾患
3	10/6(金)	3	131	アナフィラキシー	山崎 章	分子制御内科学	アナフィラキシーの病態を理解し、症候、診断および治療を説明できる。	アナフィラキシー、ショック、IgE、ハチ、皮下
4	10/13(金)	3	131	悪性関節リウマチ	山崎 章	分子制御内科学	悪性関節リウマチの病態を理解し、症候、診断および治療を説明できる。	悪性関節リウマチ、全身性動脈炎型、末梢動脈炎型
5	10/19(木)	3	131	薬物アレルギー	長谷川 純一	薬物治療学	主な薬物アレルギーを列挙し予防策と対処法を説明できる。	薬物アレルギー、薬物有害反応、薬疹、SJS、TEN、薬剤性過敏症症候群
6	10/20(金)	3	131	筋炎	足立 正	脳神経内科学	皮膚筋炎、多発筋炎の症候、診断と治療を説明できる。	皮膚筋炎、多発筋炎
7	11/2(木)	3	131	膠原病の皮膚病変	山田 七子	卒後臨床研修センター	膠原病の皮疹を理解し、その種類を列挙できる。	蝶形紅斑、ヘリオトロープ疹、ゴットロン徴候、指尖潰瘍、皮膚硬化、光線過敏、脱毛、メカニクスハンド
8	11/10(金)	3	131	アレルギー性鼻炎	榎本 雅夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科学(非常勤講師)	花粉症を含めた鼻アレルギーの病態を理解し、症候、診断、治療を説明できる。	house dust mite、花粉症、IgE、肥満細胞、Th1・Th2、サイトカイン
休講	11/16(木)	3	131	血管炎症候群、混合性結合織病(MCTD)	長谷川 泰之	第三内科診療科群	血管炎症候群の病態、診断、治療が理解できる。	高安病、結節性多発動脈炎、ANCA関連血管炎
10	12/7(木)	3	131	血管炎症候群	長谷川 泰之	第三内科診療科群	MCTDの病態、診断、治療が理解できる。	抗U1-RNP抗体、ソーセージ様手指、肺高血圧症
11	12/28(木)	3	131	全身性エリテマトーデス(SLE)	岡崎 亮太	第三内科診療科群	SLEの病態、診断、治療が理解できる。	蝶形紅斑、抗核抗体、中枢神経ループス、ループス腎炎
12	1/4(木)	3	131	強皮症、シェーグレン症候群	岡崎 亮太	第三内科診療科群	強皮症、シェーグレン症候群の病態、診断、治療が理解できる。	レイノー現象、皮膚硬化、CREST症候群、間質性肺炎
13	1/5(金)	3	131	眼科領域の免疫アレルギー疾患	宮崎 大	眼科	主な眼科領域の免疫アレルギー疾患の病態、診断、治療を説明できる。	ブドウ膜炎、アレルギー性結膜炎、ベーチェット病、シェーグレン症候群、加齢性黄斑変性症
14	1/10(水)	3	131	膠原病の概念	清水 英治	分子制御内科学	リウマチ性疾患・膠原病を説明できる。	全身性自己免疫疾患、自己抗体、多臓器非特異的炎症性疾
15	1/11(木)	3	131	食物アレルギー	竹内 裕美	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	食物アレルギーの病態、診断、治療を説明できる。	食物アレルギー、口腔アレルギー症候群

教育グランドデザインとの関連: 2, 7

学位授与の方針と関連: 1

評価: 定期試験 100%